

## シート②

### 埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修 A コース演習

#### ロールプレイ・事例

##### エピソード

- ① グループホームに入居しながら、就労支援施設（就労継続B型）を利用する知的障害のあるAさん。就労支援施設で昼食時、食事を前にして座っているが、食べる様子もなく、席に座ってうつむいている。楽しみにしていた週末の帰宅が中止になって落ち込んでいるのが原因のよう。入職して半年の支援員Bは、何とかAさんに自分で食事を摂ってもらうことを願って、隣りに座って話しかける。そこに通りかかった支援員Cは、今年入職10年目のベテラン。横から介入し、「食事をしないんなら、食器を片づけろ！午後の作業も出なくていい！自由時間の缶コーヒーもなしだ！」と怒鳴りつける。Aさんはあわてて食事を口に入れる。CはBに「すねて甘えているだけだ。甘やかすからつけあがるんだ！」ときつい口調で注意する。
- ② 翌日も同じように、Aさんは食事をしないで食堂の席に座ったまま。Bは今日も食べてもらうよう働きかけるが、やはり食べようとしない。Cが通りかかり、その様子を伺っている。Cが近づいてきたので、Bはだんだんイライラしてくる。Aさんは急に怒り出し「うるさい、黙れ！」と怒鳴ったため、Bは「おまえいいかげんにしろよ！食べたくなくちゃ食べなくていい！」と怒鳴りつけ、食事の入ったトレーを強引にAさんから取り上げる。

##### 配役と役割

- ① 利用者Aさん ～ 27歳 女性 知的障害  
就労支援施設を利用して8年目。施設の作業が好き。  
缶コーヒーは超大好き。生活の場はグループホームで  
入居して1年半。歩行することに不安を感じ、車いすを使用  
している。
- ② 支援員B ～ 22歳 男性 入職半年  
日頃からCさんの高圧的な指導に疑問を持っている。
- ③ 支援員C ～ 33歳 男性 入職10年目  
新人や若い職員を指導する立場である。
- ④ 解説者 ～ シナリオの背景、場面を読み上げ、進行する。

※ファシリテーター～ 解説者役がいないときに、解説を行う。

シート③

ロールプレキシナリオ 1

① の場面で

**屋食の時間、Aさんは食堂の自分の席にいる。その横にBがいて**

- B : Aさん、食事ががんばって食べましょうよ。嫌いなメニューですか？  
A : . . . . .  
B : 何か気になることがあるのですか？  
A : . . . . .わたし . . . . .いつ帰れるの？  
B : 家に帰れなくなったのは残念ですね。でも、食事と帰宅は別ですよ。健康に悪いですから食べましょう。  
A : Bさん食べてよ . . . 。わたしいらない。食べる気しない . . . 。  
B : そんなこと言わずに食べましょうよ。もうすぐ作業の時間ですよ。Aさんが元気ないと仕事困っちゃいますよ。みんなAさんがいると助かるって言ってますよ。  
A : 仕事なんかどうでもいいよ . . . 。ほんと、食欲ないから . . . 。  
B : 一口だけ食べてみましょうよ。残してもいいですから。少しだけでも。  
A : . . . いや . . . 食べたくない . . . . .

**このやりとりを陰からイライラした様子でCが見ている。  
ついに物陰から出てきて**

- C : 何をぐずぐずやっているんだ！食べなくなければ食べなくていい！早く食器を片づけろ！具合が悪いんだから午後の作業は出なくていい。夕方の自由時間もコーヒーは禁止だ！（怒鳴りつける）

**Cの剣幕を見て、Aさんはあわてて食事を口にいれる。**

- C : （その横でBを睨み付け）  
こういうやつは甘い言葉をかけたってダメだ！すねて甘えているだけだろ。甘やかすからつけあがるんだ。言うときは俺みたいにびしっと言ってやらなきゃわからないんだ。もう、君も働き始めて半年なんだから、俺のやり方を覚えてもらわないと困るよ。早く一人前になってもらわないとな。だいたいAさんになめられているんだよ。はっきりした態度でのぞまないと、この仕事つとまらないぞ。  
A : （その横でAさんは食事を続けながら）  
. . . うえ . . . おええ . . . （嘔吐しそうな様子だが、吐く事はない）

シート④

② の場面で

**昨日同様、昼食の時間、Aさんは食堂で自分の席にいる。  
その横にBがいる。**

- B : Aさん、今日は食事しっかり食べましょうよ。また昨日みたいに怒られちゃいますよ。いやでしょ？
- A : . . . . . (顔を伏せている)
- B : 昨日は缶コーヒー、なんとか飲めたから良かったけど . . .
- A : . . . . . (無言のままBをにらむ)
- B : しっかり食事して、元気出して作業頑張りましょうよ。
- A : . . . 家 . . . 帰りたい . . . 。
- B : 家に帰れないのはがっかりしたと思うけど、食事は食事ですよ。

**そのやりとりを、Cが少し離れたところからすごい形相でじっと  
見ている。そしてイライラした表情でAさんとBに近づいてくる。**

- B : しっかり食べないと体調崩しますよ。困るのはAさんなんですよ。
- A : 食べない！
- B : Aさんのために言ってるんですよ。心配しているんだから。
- A : うそ！心配なんて、うそだ！
- B : だからー (語尾上がる)、うそ言ってるわけじゃないです！
- A : ここの職員はみんなうそつき！
- B : そんなこと言ったりするから、Aさんは家に帰れなくなったんじゃないですか！
- A : (きーーーーと奇声) うるさい！黙れ！バカ！ (テーブルをたたく)
- B : (机をたたきながら立ち上がり)  
おまえ、いいかげんにしろ！さっきから言いたいこと言いやがって。  
もう、食べなくていい！ (と言いながらトレーを片そうとする)
- A : (それを見たAさんは片されないようにトレーを両手でつかむ)
- B : 食べたくないんだろ！  
(と言いながら、Aさんが両手でつかんでいるトレーを強引に取り上げる)

**Aさんの持っていたトレーは床に落ち、静まりかえった食堂で  
落ちた食器の音だけが、大きく響いている。  
CはBに向かってグーサインを見せ、食堂から出ていく。**

## ロールプレイ（役割演技）とは・・・

**役割演技**（やくわりえんぎ）とは、現実にかかる場面を想定して、複数の人がそれぞれ役を演じ、疑似体験を通じて、ある事柄が実際に起こったときに適切に対応できるようにする学習方法の一つである。**ロール・プレイング**（英 *role playing* または *roleplaying*）、日本語では略称で**ロープレ**などともいう。

大事なことは次の通り。

1. シナリオは理想の流れを描くこと
2. 演者は設定された場面に応じて気持ちを込めて演ずること
3. 身のこなし、動作なども伴うようにすること
4. セリフは口語に代えてもよい（ただし、言葉遣いに重要なねらいがあるシナリオ＝接客対応場面など＝では、一言一句に決まりがあるかもしれないので注意する）
5. 自然な流れになるように何度でも繰り返し演技をする
6. 毎日訓練すると効果的だが、その場合はいつでもシナリオの冒頭から始める

## 演習におけるロールプレイについて

- ・ 演じる人の性別などに応じたシナリオの変更はOK。
- ・ 書いてあるセリフを正確に言うことが目的ではないので、演じやすいセリフに変えたり、アドリブを加えてもかまわない。
- ・ 演技は下手でも可。ただし、気持ちは役になりきる。
- ・ 恥ずかしがらない。